

メタボローム解析を用いた臨床研究

波田野 琢, 斉木 臣二, 船山 学, 西岡 健弥

パーキンソン病の多くは孤発性であり, 原因は未だに不明である. 一部は家族歴があり 遺伝的な素因が関わっていると考えられている. しかし, それのみでは説明できず, 農薬 や殺虫剤の暴露, 喫煙と発症率の低下, MPTP 暴露による発症など環境素因も重要な因子 であると考えられている. この発病に関わる因子は何か? は未だ不明であり, これを明らか にすることで早期診断や早期治療が期待できる.

そこで, 私たちのグループでは孤発性および家族性パーキンソン病患者から採血により血 清をとらせていただきメタボローム解析を行っている. このプロジェクトにより, 患者と 正常との間にみとめる代謝の変化, 病気の進行に影響を及ぼす代謝の変化, 遺伝的影響に よる代謝の変化を同定することで診断バイオマーカーや治療に反応するバイオマーカーの 確立を目指している.